

ふるさとの洛陽

松下幹生

遠い鐘の音 郷の灯ともす

夕暮れ 虫の音 下駄の音

飛騨の合掌 道の端(は)瀬音

石畳 床几(しょうぎ)風鈴 かき氷

タモを持つ子が 馳せ回り

野辺の夕陽が 時告げる

ああ 懐かしいふるさとの夏

黄金の穂咲く輪島の棚田

辺りを飛び交うアキアカネ

山間(やま)を渡る 涼風(すずかぜ)優し

紅葉(こうよう)に 揺れるススキが 華を添え

空を仰げばいわし雲

海の彼方に 陽がしずむ

ああ 懐かしいふるさとの秋

四季折々に眼を楽しませ

ふるさとの陽が 暮れてゆく

日本の景色いつまでも

心にとどめ 伝えたい

ああ 懐かしいふるさと山河